

一般質問

佐渡空港整備計画の見極めの時期は近いのでは



臼杵克身 議員

地方独立行政法人化について

ついて

質問 両津病院、相川病院、特養老人ホーム歌代の里、及び養護老人ホーム待鶴荘の地方独立行政法人化を検討すべきではないか。

市長 地方独立行政法人は、地域において公共上の見地から確実に実施されることが必要で、地方公共団体が直接実施する必要のない事務・事業で民間に委ねた場合、必ずしも実施されない恐れがある

両津は一体的に経営ができれば理想的であるが。
市長 早速、詳細な調査をして、個々の運営か、一本にして運営できるのか。経営者としての適格者がいるか等の可能性を探る作業に入りたい。

市道の県道昇格について

質問 交通量の多い市道のうち、主要地方道や県道に通ずる重要な市道の県道への昇格を県に働きかける必要があるがどうか。中でも佐渡スポーツハウス脇の南線から県道辰巳宮浦線を横断し金丸の引田部神社に至る市道は、真野、南部方面から金井地区への最短道路で、大型車両を含む交通量が著しく増加している。

市長 本年度中に市道路網の整備計画の策定を行う。この中で最重要路線について、新たに県道としての要望を、金丸地区への市道についても真野地区と金井地区を結ぶ背骨の役割をする重要な路線であるので県と協議に入りたいと考えている。

質問 県は佐渡空港の必要性を検討する委員会を設置する。県営空港なので県知事の判断を待つところであるが、市長はどのような働きかけをしているか。

市長 これから県が設置する空港検討委員会では、現空港の利活用のあり方、空港と佐渡観光問題、新空港の可能性などのテーマに対して学識経験者を交えて検討されると聞く。空港の必要性も検討される可能性もあるが、佐渡空港が県営空港であることから検討委員会の結果を踏まえ、知事がどのような判断をされるか非常に心配している。厳しい環境にさらされている佐渡にとって、

大都市圏との空路の必要性は高まる一方である。知事には様々な機会をとらえて話をしている。

質問 県への働きかけは適切な機会に民間団体や市議会も巻き込んだ働きかけが必要ではないか。

市長 レクチャーも関係者からしてもらっている。議会には特別委員会も設置してもらい、相談しながらタ

イミングを見てほしい。その機会は必ず来ると思う。

質問 県知事の判断が示されるまでの間であつても地権者との交渉は当然進めるべきと思うが。

市長 空港事業化への取り組み姿勢は、何ら変わりない。地権者との折衝

市長 既に同意をいただいている地権者の方もおり、現空港整備計画の実現を第一義とし、残る未同意の地権者との交渉を進める。期限を設けての交渉については、地権者との問題と県営空港との絡みがあり、大きく動き出したい。

質問 両津病院、特養ホーム歌代の里、すこやか